

令和日本の聖使命

人類根本救済

人類は古来「人生とは何か」の明答を知りません。

それ故に、愚かにも全く無意味かつ有害無益な「富や名声の追求」にのめり込み、争いや戦争を繰り返して自然を破壊し続けて、今や滅亡寸前にあるのです。

平成二年春、縁あってこの現実を目覚めた私は、以降「人生とは何か」の究明に寢食を忘れて没頭し、平成七年末、遂にその「明答」を感得したのです。

わが魂に「人類根本救済」の天命が下ったのです。しかしながら、その「天命」たるや余りに次元違いの重大事に過ぎて、片田舎の一小商人でしかない私独りの力だけでは、どうすることも出来ません。

そこで、時の皇太子に協力を求めて三十年余り、今秋ようやく内諾頂けたと確信するに至りました。

残るは国民への周知ですが、事が事なのでマスコミが使えず、こうしてネット発信し続けている次第です。

詳しくは、下記の出書『救世論文三部作』並びに不肖プロフィールをお目通しください。

令和六年晩秋

覚者播磨屋助次郎

敬白